

少子・高齢社会、生活困窮、孤立・・・地域の福祉課題を知り、
地域の力で解決に導く方法を考えましょう！

福祉大学 受講生募集

	講義内容	日時	講師	会場
第1回	社会的孤立 ～孤独死やゴミ屋敷問題を考える～	9月4日(火) 15:00～17:00	豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏	藤久保公民館 ホール
第2回	触法 ～触法者(加害者)への支援～	9月20日(木) 14:00～16:00	埼玉県地域定着支援センター センター長 木内 英雄 氏	
第3回	地域包括ケアシステム ～三芳町の支え合い活動を考える～	10月2日(火) 14:00～16:00	さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子 氏	
第4回	里親制度 ～里親制度の現状と課題～	10月4日(木) 14:00～16:00	日本社会事業大学 教授 宮島 清 氏	
第5回	成年後見制度 ～高齢者の権利擁護の視点から～	11月7日(水) 14:00～16:00	むつみ法律事務所 弁護士 高宮 大輔 氏	
第6回	子どもの貧困 ～学習支援の現場から～	11月29日(木) 14:00～16:00	彩の国子ども・若者支援 ネットワーク 理事 白鳥 勲 氏	
第7回	公的年金 ～持続可能性をどこに求めるか～	12月7日(金) 14:00～16:00	大妻女子大学短期大学部 教授 玉木 伸介 氏	
第8回	高齢者虐待 ～虐待防止のための支援のあり方～	12月20日(木) 14:00～16:00	埼玉県社会福祉協議会 権利擁護センター 所長 丸山 広子 氏	



対象者：どなたでもご参加いただけます

※ 申込制。裏面に申込用紙あり。Fax・メール・持参にて受付。

定員：各100名 **参加費**：無料



勝部 麗子 氏

1987 年入職以来、ボランティアセンター、小地域福祉ネットワーク活動、当事者組織など、地域組織化や地域福祉活動計画に携わる。2004 年度より始まった、大阪府地域福祉支援計画のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）設立事業の一期生となる。現在は、CSW として制度の狭間の課題を解決するプロジェクトの立ち上げ等に取り組んでいる。また、厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の支援の在り方に関する特別部会」に委員として参加。2014 年 4 月から放映の NHK ドラマ 10「サイレントブア」のモデルとなり、同ドラマの監修を務めた。7 月には「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演した。2016 年厚生労働省地域力検討会委員として参加、2017 年より厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員として参加。



高宮 大輔 氏

弁護士、社会福祉士。埼玉県川口市出身。一橋大学法学部卒業。日本司法支援センター（法テラス）に勤務後、平成 25 年さいたま市に、むつみ法律事務所を開設。これまで、日本弁護士連合会高齢社会対策本部委員、同高齢者・障がい者権利支援センター委員、埼玉弁護士会高齢者・障がい者権利支援センター運営委員会委員長をはじめ、埼玉県社会福祉協議会、埼玉県、さいたま市等、多くの自治体でも高齢者、障がい者に関する委員を務めている。近年では、障がい者虐待防止・権利擁護研修講師、成年後見人養成研修講師等、講師の依頼も多く、弁護士と社会福祉士の視点から、多くの講演を行っている。



木内 英雄 氏

1952 年生まれ、2010 年より埼玉県地域定着支援センターに勤務、現在はセンター長。支援の対象者が刑務所等の矯正施設を退所後に速やかに福祉サービスを受けることができるように、コーディネートやフォローアップ、相談支援業務に取り組む。また、埼玉福祉保育専門学校の講師として更生保護、司法福祉分野で教鞭にも立っている。



白鳥 勲 氏

1946 年生まれ。1969 年より 2010 年まで、埼玉県立高校教員。教員時代は、ひたすら一人ひとりの生徒との「会話」を大切に、互いに心を開き合う関係をつくる、生徒の個性・願いを生かした進路の開拓を共に進めることを実践の基本にしてきた。また、「低学力、貧困、問題行動、いじめ、不登校」などを抱える多くの生徒と関わり、きめ細やかな指導を行ってきた。現在、貧困の連鎖をストップさせるために埼玉県・各市から事業委託を受けて、生活困窮世帯への子どもを対象に地域での学習支援（家庭訪問、学習教室）活動に取り組んでいる。埼玉県での学習支援活動（通称アースポート学習支援）は、新聞、教育・福祉関係の雑誌、テレビなどで取り上げられている。NHK「クローズアップ現代-貧しくて学べない」、日本テレビ NNN ドキュメント「奇跡のきょうしつ」などに出演。



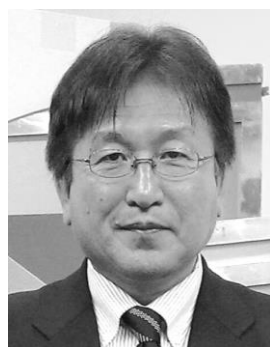
清水 肇子 氏

さわやか福祉推進センター（現公益財団法人さわやか福祉財団）の創立時から参加。情報誌『さあ、言おう』編集長、常務理事事務局長を経て、2014 年 7 月から同財団の理事長に就任。超高齢社会、成熟社会における新しい支え合いの形、ふれあいにあふれ、誰もがいきいきと輝ける社会システムづくりを提言、全国で実践中。地域における生活支援サービスのコーディネート機能の構築に関する調査研究事業委員（厚生労働省）、経済財政諮問会議政策コメンテーター（内閣府）、東京都高齢者保健福祉施策推進委員会委員、平成 27 年度生活支援コーディネーター養成研修事業カリキュラム検討会委員（東京都）、NPO 法人日本血栓症協会副理事長なども務める。



玉木 伸介 氏

1979 年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。審査局、企画局、国際局等を経て、1999 年情報サービス局広報課長。2001 年、総合研究開発機構（NIRA）出向（主任研究員）。2004 年、預金保険機構出向（財務部長等）。2009 年、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）出向（審議役・企画部長）。2011 年 3 月日本銀行退職、同 4 月より大妻女子大学短期大学部教授。主な著書、論文に、「年金 2008 年問題」（2004 年、日本経済新聞社）、「公的年金の積立方式に関する金融の観点からの検討」（「季刊社会保障研究」Vol. 49、No. 4、2014）、「若者に伝えるべき公的年金保険の原理-彼らの将来の生活の視点から-」（2016 年、一般社団法人日本経済調査協議会）などがある。社会保障審議会年金部会「年金財政における経済前提に関する専門委員会」委員。



宮島 清 氏

昭和 56 年に埼玉県庁に入庁。福祉職として、児童相談所、同一時保護所、知的障害児施設、県本庁児童福祉課等に勤務する。平成 17 年 3 月所沢児童相談所地域相談担当課長を最後に退職。現職は日本社会事業大学専門職大学院の教授とし勤務する。専門は、子ども家庭福祉とソーシャルワーク。特に児童虐待が発生した家族・援助を必要とする家族への支援、里親養育や児童福祉施設の援助とその仕組み関することに取り組む。厚生労働省社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会委員、全国児童養護施設協議会「季刊児童養護」編集委員、日本子ども虐待防止学会（代議員）、日本社会福祉学会会員（査読委員）なども務める。



丸山 広子 氏

1989 年 8 月、久喜市社会福祉協議会入職。知的障害者施設、介護支援専門員、介護保険事業及び地域包括支援センター管理者に従事。2010 年市町村協合併後、管理職となったが、コミュニティソーシャルワーカーとして、地域の困りごとに向き合い、サロン等の居場所作り等に取り組んだ。2014 年事務局長に就任後も、生活困窮者等を支援するあんしん生活相談センターの所長を務め、一貫して相談の現場を歩んできた。2017 年 4 月より埼玉県社会福祉協議会権利擁護センター所長。公益社団法人埼玉県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあ埼玉所属、成年後見人。日本社会事業大学通信教育科社会福祉士養成課程非常勤講師。久喜市民大学講師。社会福祉士、精神保健福祉士。

【平成30年度福祉大学申込書】

氏 名 性 別 （男・女） 年 齢 才

住 所 電 話 番 号

↓ 受講したい講座に○を付けて下さい。

第1回	社会的孤立	第5回	成年後見制度
第2回	触法	第6回	子どもの貧困
第3回	地域包括ケアシステム	第7回	公的年金
第4回	里親制度	第8回	高齢者虐待